

国立情報学研究所教育研修事業

「大学図書館員のための IT 総合研修」2021 年度

「Web コンテンツ公開方法の理解と実践」補足資料

講習用エディタの選定

東京大学情報システム部 前田朗



1. はじめに

この講習会の企画においては、受講生が使テキストエディタ（以下、「エディタ」）として何を採用するかを検討を行った。最終的には、GitHub Pages を使うのであれば、GitHub 社が開発した ATOM を使うのがよいに違いないという理由で、ATOM の採用に至ったが、あとあと調査するとそう単純な話でもないことが理解できてきた。

この補足資料は、エディタ選定後に調査したことをまとめた小噺である。これを読んでエディタに興味を持ってもらえれば幸いである。

2. テキストエディタはさまざま

システム開発者にとって、エディタはメインで使うツールである。多機能なエディタを使いこなすには習熟が必要なため、お気に入りのエディタを使い続けるケースも多いと聞く。

インターネットで、IT エンジニアのためのエディタの人気調査という面白い情報を以下に見つけた。筆者は、「ATOM」や「Visual Studio Code」といった開発寄りのエディタが人気かと考えていたが、意外なことに「サクラエディタ」がトップであった。

[IT エンジニアが使いたいエディタトップ 10 「Visual Studio Code」は 3 位 1 位は？](ITMedia)

<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2105/27/news089.html>

3. ATOM エディタを選定した理由

先に述べたように、本講習では GitHub を使うことから、単純に「GitHub 社が開発した」ATOM であれば親和性が高いことを期待してエディタを選定している。また ATOM はシステム開発者向けエディタなだけあり、HTML 編集用の機能があることも、プラスとなるポイントであった。

3-1. 「Visual Studio Code」と「ATOM」の関係

講習会用に ATOM を選定したとはいえ、それがベストかどうか判断しかねるところがある。たとえば、Microsoft 社の Visual Studio Code であれば、ほぼ同等の機能を持つと考えられる。そこで ATOM と Visual Studio Code の関係について、簡単に比較してみよう。Visual Studio Code であるが、実のところ ATOM との類似性が多くみてとれるようである。以下は何かの結論を出す話ではなく、小噺として受け取っていただきたい。

- ・ 開発業者の関係
 - ATOM → GitHub 社が開発
 - Visual Studio Code → マイクロソフト社が開発
 - GitHub 社はマイクロソフトの子会社！
- ・ 開発フレームワークは同じ Electron
 - Electron は「Web 技術」でデスクトップアプリケーションを開発できるフレームワークである。アバウトな説明であるが Web ブラウザで、デスクトップアプリケーションを動作させていってもよいかもしれない。
 - ちなみに、Electron は ATOM の開発用に作成したフレームワークをオープンソース化したものであり、ATOM が元となっている。
- ・ 共通の開発向けの機能がある
 - プラグインによる機能拡張
 - スニペットと入力補完機能
 - マルチカーソル機能
 - ターミナル機能
 - 各種 Linter への対応
 - Git 及び GitHub 連携機能

3-2. ATOM は Git のインストールが不要

ATOM では、Git 及び GitHub 連携機能が最初から組み込まれている。Visual Studio Code

のように Git を別途インストールしなくてよい。ただ、Git のインストール自体さほど難しくはなく。当初期待したほど GitHub 連携での ATOM の優位性はなさそうに思えた。

※ ATOM のデフォルトの Git 機能では不足の場合は、「git plus」などのパッケージがある。

(参考)

[Atom エディタと GitHub 連携 - ターミナルを使わない設定方法のメモ
【JavaScript 入門】]

<https://uxbear.me/atom-github/>